

# 第55期 第3四半期 決算説明資料

(2020年4月1日 ~ 2020年12月31日)

株式会社 **工ノモト**

(東証1部 証券コード:6928)

## 2021年3月期 第3四半期決算 業績報告

- 上半期までの停滞から脱し、国内外で急激な伸長。
- 情報通信機器向けは年末でピークアウトも引続き堅調に推移。
- 半導体市場の活況により、リードフレームも回復基調。
- 製造工程の自動化・効率化による原価低減 ⇒ 収益性の改善。

### ● 連結

(単位:百万円)	1Q	2Q	3Q	2021/3月期 3Q累計	前年同期比	2021/3月期 累計(予測)	2020/3月期 累計	前期比
売上高	5,114	5,351	6,297	16,761	△ 0.4%	22,700	22,648	0.2%
売上総利益	807	738	1,227	2,772	6.6%	3,800	3,593	5.8%
販管費	564	533	567	1,663	3.5%	2,300	2,234	3.0%
営業利益	244	204	660	1,108	11.5%	1,500	1,358	10.5%
経常利益	253	206	652	1,111	8.6%	1,500	1,394	7.6%
当期純利益	171	161	600	932	27.0%	1,200	912	31.6%
1株当たり純利益	-	-	-	138.62円	26.8%	178.48円	135.87円	31.4%

①IC・トランジスタ用リードフレーム

- ・ 車載向け部品は夏以降回復。受注も足元に於いて増加傾向。
- ・ 市場の想定以上に早い回復による半導体の需要超過状態。  
2022年3月期の半ば頃までは、継続か。
- ・ ディスクリート半導体 世界市場成長率予測  
2020年  $\Delta 1.2\%$   $\Rightarrow$  2021年  $7.2\%$  (WSTS 2020年秋期半導体市場予測)

②オプト用リードフレーム

- ・ 大規模集客施設用の大型ディスプレイ向けなど感染症影響を強く受け足元は厳しい環境だが、インフラ向けには既に需要回復が見られ感染収束に伴うイベント需要回復にも期待感。
- ・ 除菌機能付照明LED用部品等、高機能品の需要拡大見込み。
- ・ 車載関連では外装向けLED、センサー向け部品の成長を予測。
- ・ 世界的な需要も回復の予測。  
オプトエレクトロニクス 世界市場成長率予測  
2020年  $\Delta 2.6\%$   $\Rightarrow$  2021年  $10.2\%$  (WSTS 2020年秋季半導体市場予測)

## 2021年3月期 製品群別②

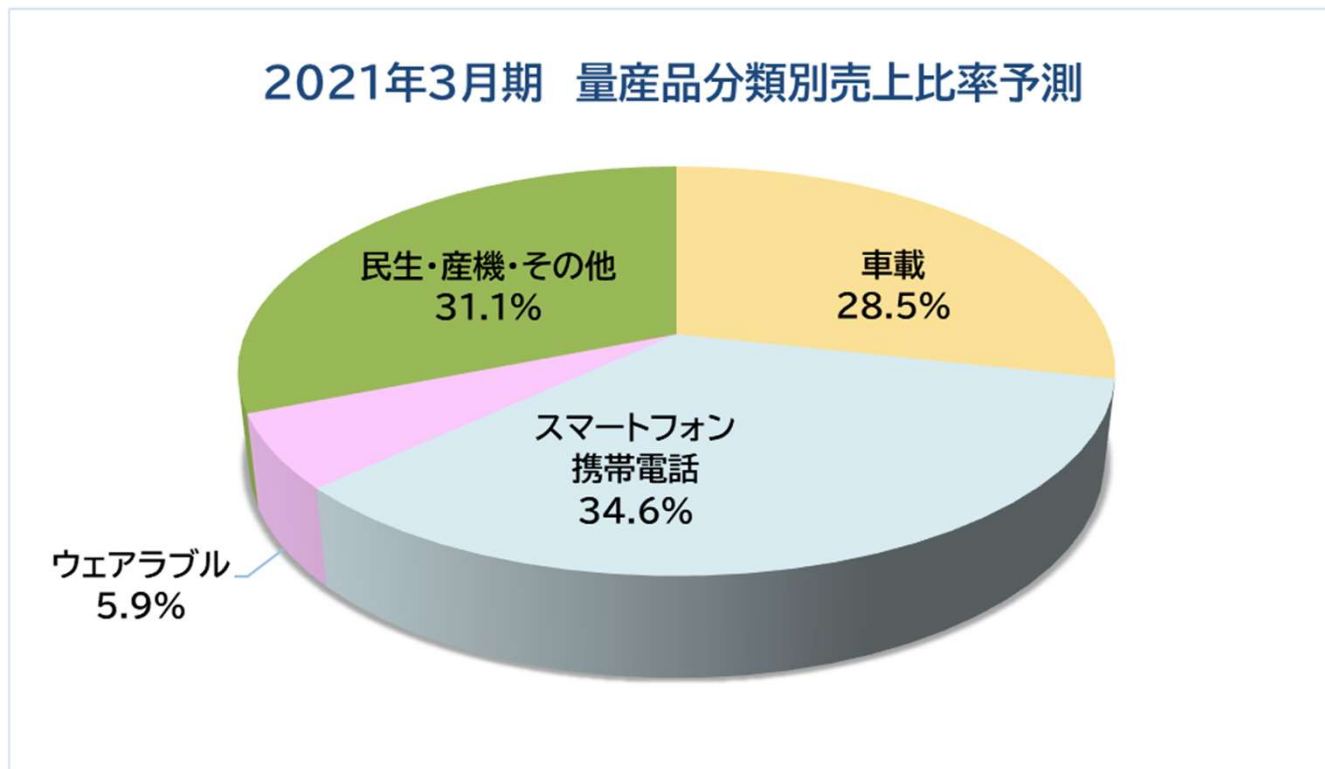
### ③コネクタ用部品

- 情報通信機器向け需要は、例年通り第3四半期にピークを迎え  
需要好調により年明けの減少も緩やか。
- ウェアラブル市場は2021年も成長の予測  
スマートウォッチ、スマートグラス 前年比 + 9.6%  
ワイヤレスイヤホン 前年比 + 24.1%  
2025年まで、市場は持続的な成長の予測。(富士キメラ総研)
- 車載向けは自動車関連市場が回復。  
エアバッグ用大型コネクタ部品は下半期より、非常に強い繁忙感。

(単位:百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q (予測)	2021/3期 予測	(ご参考) 2020/3期 実績	前期比
IC・トランジスタ用 リードフレーム	1,735	1,517	1,912	2,002	7,165	7,485	△ 4.3%
オプト用 リードフレーム	678	617	530	600	2,424	2,854	△ 15.1%
コネクタ用部品	2,530	3,055	3,687	3,139	12,411	11,554	7.4%
その他	168	165	168	198	698	752	△ 7.2%
合計	5,114	5,351	6,297	5,939	22,700	22,648	0.2%

## 2021年3月期 用途別売上比率①

- ウェアラブル向けが2020年3月期 3.1% から倍増。
- スマートフォン・携帯電話向けは 2020年3月期 33.4%から増加。
- 車載向けは上半期に躓いたものの、夏以降の回復が顕著。

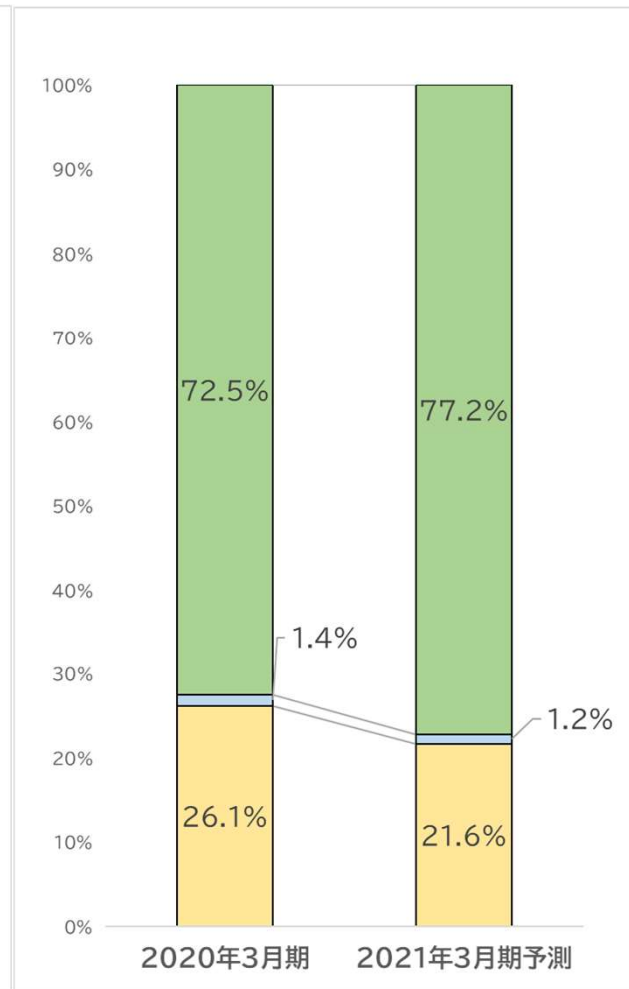


## 2021年3月期 用途別売上比率②

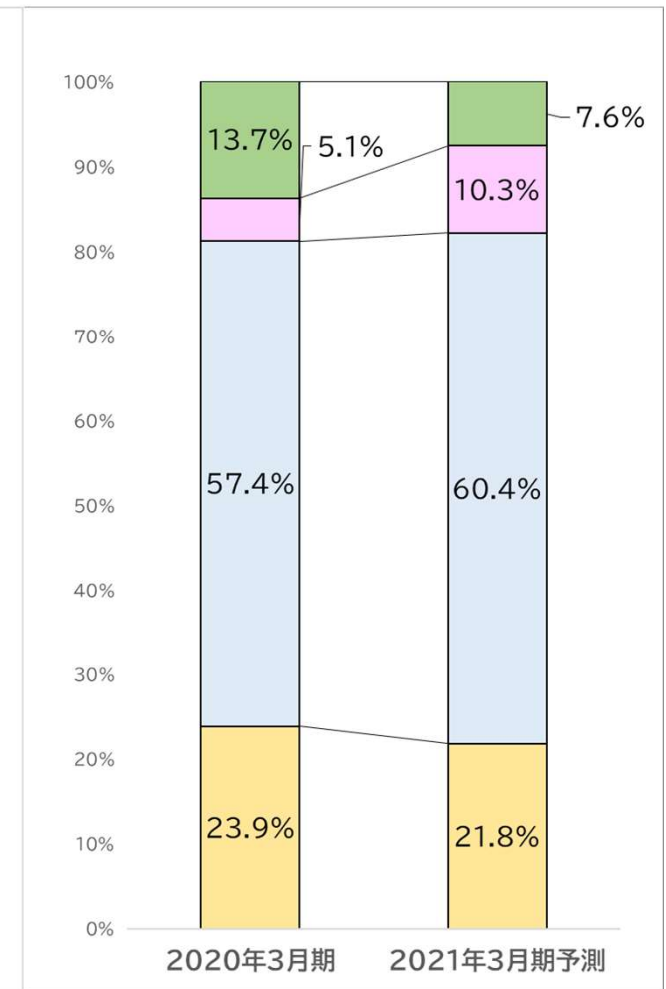
### IC・トランジスタ用 リードフレーム



### オプト用 リードフレーム



### コネクタ用部品



■ 車載 
 ■ スマートフォン 
 ■ ウェアラブル 
 ■ 民生・産機・他

**ENOMOTO Co.,Ltd.**